

長崎県子連NEWS

あすをひろく子ども会

長崎県子連ニュース No.35

平成28年(2016年)3月

発行/一般財団法人 長崎県子ども会育成連合会

〒850-0057 長崎市大黒町3番1号 TEL・FAX095-827-4574

URL <http://www.kodomo-kai.or.jp/nagasaki/> e-mail kdm42@axel.ocn.ne.jp



一年を振り返って

一般財団法人長崎県子ども会育成連合会 会長 中島 公彦

平成28年度の事業も、各市町の指導者・育成者の皆様の温かいご支援とご協力によって、事故もなく無事に終了することができましたことに、心から厚く感謝とお礼を申し上げます。

最近、助成事業の予算が減額されたりなくなったりする傾向にあり、財源不足から子ども会自体の事業を考慮しなければならない時代になって参りました。子ども会としては、財源が無いからといって子ども会自体の事業をやめることなく、自主財源を確保して子どもの体験活動を継続していくことが肝要かと考えます。子ども会活動を工夫・創造することによって、子どもの成長を見守り育てるという心強い指導者・育成者になってくださいますよう祈念してやみません。

今年度の全国子ども会育成中央会議・研究大会は、10月17日(土)から18日(日)までの2日間、群馬県の伊香保町で開催されましたが、この中で、全国子ども会連合会の50周年記念式典並びに祝賀会が開催されたこともあって、たいへん意義深い大会でした。

式典の中で、私に記念の挨拶をと指名を受けましたので、50周年にちなんで挨拶をして参りましたが、私にとってもよき思い出の記念大会となりました。

私たちの長崎県子ども会育成連合会も、3年後の平成31年(2019年)には、創立50周年を迎えますので、県下の指導者・育成者の皆様におかれましては、体験活動に努力していただきますとともに、豊かな体験で50周年事業を成功させ、笑顔に満ち溢れた健やかでたくましい子どもたちを育てていただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

7月に予定した2泊3日の上五島海洋青少年の家でのジュニア・リーダー研修会は台風のため中止でしたが、日を改めて実施すべきではなかったかなあと反省すると同時に、申し込みをされた皆さんに申し訳なく思っております。

私は、多くの皆様に支えられ、今日の私に育てていただきました。その答えは、「人に優しく思いやりの心と有難うを忘れないで」です。心に浮かんだこの言葉は、皆様から贈っていただいた私の財産であり、宝物として受け止め、皆さんとの出逢い、ふれあいを大切にして参りたいと存じますので、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成28年度 県子連主要事業計画(予定)

事業名	開催日	会場
子ども会KYT初級指導者養成講習会	6月18日(土)	えきまえいきいきひろば
長崎県子ども会ジュニア・リーダー研修会	8月10日(水)～12日(金)	上五島海洋青少年の家
九州地区子ども会ジュニア・リーダー大会	8月19日(金)～21日(日)	沖縄県：糸満青少年の家
県子連伝承芸能大会	2月12日(日)	大村市：コミュニティーセンター
全国子ども会育成中央会議・研究大会	2月17日(金)～19日(日)	福岡県：久留米シティプラザ
県子連指導者・育成者研修会	(未定)	平戸市と長崎市の2地区開催
全子連表彰 被表彰者の推薦	市町子連締切:6月6日(月)	県子連締切:6月13日(月)

全国子ども会連合会設立50周年記念式典 (平成27年度第49回 全国子ども会中央会議・研究大会)

本年度の全国大会は、平成27年10月17日(土)～18日(日)、群馬県渋川市伊香保で開催されました。本年度は、全国子ども会連合会が設立されてからちょうど50年の節目にあたることから、設立50周年を祝い記念する大会として、式典を中心にした大会となりました。

全子連の企画をもとに、準備運営にあたったのは関東ブロック子ども会で、群馬県子連のスタッフがその中心になり運営にあたりました。

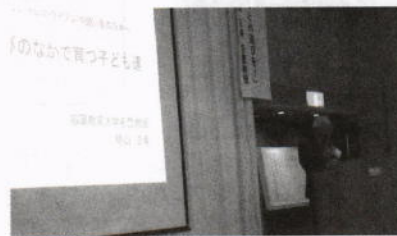
全国から50周年を祝う約630名が集い、各種交流に努めました。長崎県からは中島公彦会長以下全子連表彰受賞者を含め4名が参加し、他県(政令市)子連と積極的な情報交換等を行い、有意義な大会となりました。



開会式



全子連表彰



記念講演

設立50周年式典開催にあたり(全子連)	大会日程
全国子ども会連合会が社団法人として設立許可された当時、昭和40年6月(1965年)、わが国の各地に異年齢の徒党を組む子ども集団が存在していた。しかし、近年、世界全体が急速に変化しており、わが国も例外ではない。 グローバル化が進展する中であって、わが国の子どもたちは、世界の国々と貿易を通して、学術・文化・スポーツの交流を通して国を支え、発展させていかなければならない。国境を越えて互いに理解し合い、対話や協同的なコミュニケーションを強化するためには、ありきたりの社会性ではなく、柔軟で「しなやかな社会性」を身に付けることが養成される。 設立50周年に臨み、「異年齢集団」を活動の基本に据えてきた子ども会活動の歴史を振り返るとともに子どもたちが元気な声を取り戻し、正しいものの見方、偏りのない社会的態度や習慣を身につける活動が、創意・工夫を重ね、末永く継続することを誓い合う機会としたい。	大会1日目[10月17日(土)](ホテル木暮) - 第1部 開会式 13:00～ ①開式の言葉 ②国歌斉唱 ③会長式辞 ④来賓祝辞 ⑤市長歓迎挨拶 ⑥来賓紹介 ⑦閉式の言葉 - 第2部 50周年記念基調講演 13:40～ ・演題 「地域教育力の再生」 ・講師 白梅大学学長(東大名誉教授) 汐見稔幸 教授 - 第3部 表彰式 15:20～ ・指導者・育成者 103名 ・指導者育成者組織 10名 - 受賞者を囲む会・50周年記念情報交換会 18:30～ 大会2日目[10月18日(日)] - 全体会 9:00～ ・郷土芸能「八木節」 ・上毛かるたへの取組 - 閉会式 10:30～ - 視察研修 11:15～



八木節



大会会場



「50周年にちなんで」中島公彦会長の話

平成27年度第47回 九州地区子ども会育成研究協議会～鹿児島大会～ 平成27年11月21日（土）～22日（日）： 霧島市：霧島市民会館ほか

本年度の九州地区子ども会育成研は鹿児島開催で、九州各県から約360名が参加し、熱心な研究協議が行われました。

長崎県からの参加者は、九子連表彰受賞者3名を含め11名でした。

第3部会では、長崎県子連専門委員の小谷富敏先生が指導助言を務めました。

大会日程

第1日目〔11月21日（土）〕

- ① アトラクション「湯之尾神舞」(伊佐市)
- ② 開会式・表彰式
- ③ 部会協議
 - ・ 第1部会「子どもたちが主体的に取り組む子ども会活動の在り方」(霧島市民会館 ホール)
 - ・ 第2部会「地域とともに子どもたちを育む育成者の在り方」(霧島市民会館 会議室)
 - ・ 第3部会「地域とともに育む子ども会活動」
指導助言者 専門委員長 小谷富敏先生(長崎) (国分シビックセンター 多目的ホール)
 - ・ 第4部会「市町村合併後の会員拡大の取組」
(霧島市総合福祉センター 大会議室)
- ④ 情報交換会 (かごしま空港ホテル)
アトラクション：霧島九面太鼓ほか

第2日目〔11月16日（日）〕

- ① 全体会 各部会協議報告
- ② 記念講演
「地域子ども会の本質を問う！」
聖徳大学准教授 神谷明宏氏
- ③ 大会宣言文採択
- ④ 閉会行事(大会旗引継ぎ)



開会式



3部会助言：小谷富敏先生



部会協議



記念講演：神谷明宏准教授



湯之尾神舞



霧島九面太鼓



前田霧島市長歓迎挨拶



全体会（部会協議報告）



大会旗の引継ぎ

次回開催は、全国子ども会育成中央会議・研究大会と兼ねて、福岡県久留米市で開催されます。〔平成29年2月17日（金）～19日（日）〕

長崎県子ども会指導者・育成者研修会〔南島原市会場〕

- 1 日時 平成28年1月31日(日)
13:30～16:30
- 2 会場 西有家総合学習センター
- 3 内容
 - ①オープニングセレモニー
 - ②開会行事
 - ③実践事例発表
 - ④研究協議
 - ⑤指導助言
 - ⑥全体研修(レク)
 - ⑦講評・閉会行事



開会行事



西有家総合学習センター



祝辞 県生涯学習課
係長 井上潤一郎 様



祝辞 南島原市教育委員会
教育長 永田良二 様



オープニングセレモニー
「寺子屋21」西有家太鼓教室の子どもたち



研究協議会

研修テーマ

「子どもの手による子ども会」の定着と発展を図ろう
～ジュニア・リーダーの手による子ども会運営を目指そう～

☆ 実践発表

- ① 口之津地区子ども会育成連絡会
松本圭介 様



会員数が減少していくので、鬼火など、伝統行事の継承が難しくなっているが、地域の方を巻き込んだ活動を行うことにより、子どもたちを地域で育てる環境をつくっていききたい。

- ② 布津地区子ども会育成連合会
山崎康雄・吉田恵徳 様



飯野小学校自治会学芸会の開催など、次代にあわせた改善を行ったり、地域・学校・保護者の理解と協力を得る行事を工夫して実施し、伝統の燈火をともし続け、よりよいまちづくりをめざしていきたい。

☆ 指導助言

専門委員長 小谷富敏 先生

地域の皆さんと一緒に子ども会活動続をけているという発表を、素晴らしいと思いました。私たち大人が協力して頑張り、子どもたちに「考える心」「行う心」「感じる心」の三つの財産を贈りたいものです。



小谷

☆ 全体研修「集会時に役立つレクリエーション」 NPO法人レクリエーション協会 松本節子 様



全体進行
古瀬義安貴 様



協議会司会
野中孝徳 様



研究協議会
(参加者約150名)



講評 専門委員
水谷幸子 先生



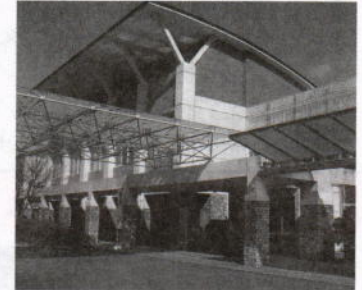
閉会あいさつ
下田靖博 市子連副会長

長崎県子ども会指導者・育成者研修会〔東彼杵町会場〕

- 1 日時 平成28年2月21日(日)
13:20～16:30
- 2 会場 東彼杵町総合会館
- 3 内容 ①オープニングセレモニー
②県子連表彰式
③開会行事
④実践事例発表
⑤研究協議
⑥指導助言
⑦講評・閉会行事



中島公彦 県子連会長



東彼杵町総合会館



祝辞 県生涯学習課
参事 原 洋 様



祝辞 東彼杵町教育委員会
教育長 加瀬川哲文 様



オープニングセレモニー
東彼杵町グリーンハート児童合唱団



研究協議会

研修テーマ

「子どもの手による子ども会」の定着と発展を図ろう
～ジュニア・リーダーの手による子ども会運営を目指そう～

☆ 実践発表

① 川棚町西白石子ども会 藤尾芳恵 様



子どもたちは忙しく、活動も制約を受けがちですが、楽しい活動を仕組みながら、活動のバトンを渡していきたいです。親の都合で参加できない子どもの思いをどう受け止め、支援に徹しながら、環境づくりをどう工夫していくかが課題です。

② 東彼杵町木場子ども会 森 英三郎 様



家族や地域の方々と幅広くふれあい、支えられながら育つことで、地域に愛着をもった「木場んもん」が自然に育っていくと思います。消滅可能性集落などとは無縁の地域づくりが子どもたちの将来までつながっていくことを願っています。

☆ 指導助言

県子連専門委員 石橋一夫 先生

両子ども会とも、組織がしっかりしており、地域や関係団体との連携がとれており素晴らしい。指導者が実際に体験・経験したことが発表に活かされています。社会教育担当職員が原動力として活躍されている姿も頼もしいですね。



☆ 講評

東彼杵町 教育次長 岡木徳人 様

子ども会で実施している廃品回収活動は、子どもたちが社会に奉仕し貢献する機会として有効ですね。本日の子ども会活動の実践を、各地域の子ども会につなぎ、いかしてほしいと思いました。



進行 森田由香 様



協議司会 宮崎正 様



研究協議会



閉会あいさつ
小峰義春 川棚町子連会長

平成27年度第37回 長崎県子ども会伝承芸能大会 in 諫早市

昭和54年に始まり本年度で37回目を数える長崎県子ども会伝承芸能大会が、平成28年2月14日(日)、諫早市文化会館大ホールにおいて開催されました。市内はもとより県内各地から約250名の参観者がありました。開催にあたっては、地元諫早市子ども会育成連合会ならびに諫早市教育委員会の多大なご支援とご協力をいただきました。出演団体には県子連会長から賞状と記念品の盾が贈られました。



凛音・天響・桶ショット [諫早天満太鼓保存会]



諫早天満太鼓保存会は天満町自治会の支援のもと、平成2年に結成、諫早市を中心として町内はじめ、市・県のイベント、また福祉施設への慰問など、年間30～40回の演奏活動をしています。大好きな太鼓を打てることに仲間・家族に感謝しながら、日々練習に励んでいます。



県教育庁生涯学習課
宮崎 誠 課長

平山町子ども会伝承芸能浮立 [平山町子ども会]

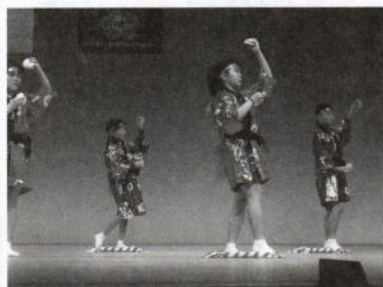


浮立は370年ほど前から平山町に伝わっています。現在では秋に豊作を祝う祭りとして神社、水神様、山の神様の前で奉納しています。年々参加者が減少したため、昭和47年から子ども浮立を立ち上げたものがきっかけです。浮立を通じて地域を愛する心をもった子どもたちに育っています。



諫早市教育委員会
平野博教育長

諫早のんのこ節 [西諫早小学校放課後子ども教室]



諫早市民に最も親しまれている民謡、それが「諫早のんのこ節」です。「のんのこ」とは、諫早の方言で「かわいい」という意味です。両手にそれぞれ2枚の小皿を持って踊るので、別名「皿踊り」とも言われます。メンバーは、小学校2年生から6年生までで構成されていて、みんなで楽しく練習を続けています。



講評:
西尾和弘課長

長里子ども浮立 [長里子ども浮立保存会]



小長井町長里地区に古くから伝わる「長里浮立」の継承と、子どもたちの郷土愛を育む目的で、平成10年、長里小学校の子ども達を中心に「長里子ども浮立」を立ち上げました。1年生から6年生までの子どもたちが、毎週金曜と土曜の夜や夏休みに練習を重ねてきました。



進行:
宮田龍郎 様



閉会挨拶:
北御門長蔵会長

平成27年度 全子連・九子連・県子連表彰 受賞者一覧表

1 全国子ども会連合会表彰

【団体】

区分	地区	団体名	代表者名	活動年数
子ども会	佐世保市	横手町子ども会	福田 伊織 内田千央美	50年



【個人】

区分	地区	氏名	団体名 および 役職名	活動年数
指導者	長崎市	吉田 眞勝	虹ヶ丘小校区青少協会長	24年



2 九州地区子ども会育成連合会表彰

【個人】

区分	地区	氏名	団体名 および 役職名	活動年数
指導者	諫早市	橋本 眞弓	諫早市子連専門委員	34年
指導者	大村市	北野 政次	大村市子連理事	24年
指導者	佐世保市	川口 勲	佐世保市子連事務局長	17年



3 長崎県子ども会育成連合会表彰

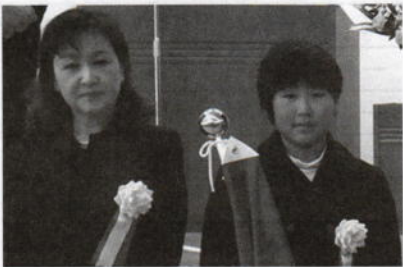
【個人】

NO	地区	氏名	団体名 および 役職名	活動年数
1	佐世保市	和泉 徳仁	佐世保市子連 副会長	13年
2	大村市	野田 孝則	大村市子連 副会長	13年



【団体】

NO	地区	団体名	代表者名	活動年数
1	川棚町	石木子ども会	中村 文寧 中村 郁美	64年
2		五反田子ども会	森 樹生 森 千晶	64年
3	佐世保市	もみじが丘町子ども会	長島 千乃 長島 綾	22年



平成27年度 市町別加入会員数と加入率

平成28年2月29日現在

市町名	単子数	加入会員数						加入率(%)〔加入数／児童・生徒数〕			
		未就学児 (3-5歳)	小学生	中学生	高校生	指導者 育成者	合 計	未就学児 (0-5歳)	小学生	中学生	小中計
県 計	1,925	3,702	40,118	8,588	433	29,909	82,750	5%	55%	22%	43%
長 崎 市	265	436	6,626	949	30	3,078	11,119	2	31	8	23
佐世保市	299	812	8,016	1,072	13	5,983	15,896	6	58	15	43
島 原 市	139	314	2,318	383	2	3,070	6,087	13	99	30	74
諫 早 市	213	465	4,995	1,198	2	3,929	10,589	6	64	28	51
大 村 市	84	240	1,737	258	25	1,659	3,919	4	28	8	22
平 戸 市	107	160	1,149	417	15	1,004	2,745	11	75	48	65
松 浦 市	78	110	990	409	20	1,109	2,638	10	81	59	73
対 馬 市	33	10	1,173	574	0	371	2,128	1	69	63	67
壱 岐 市	27	37	1,082	210	0	157	1,486	3	69	25	53
五 島 市	78	127	1,657	367	72	1,138	3,361	8	95	40	75
西 海 市	67	110	1,166	513	9	919	2,717	8	90	70	82
雲 仙 市	124	237	1,840	452	0	2,121	4,650	12	81	37	65
南島原市	173	205	1,967	142	14	2,203	4,531	10	87	11	58
市 計	1,687	3,263	34,716	6,944	202	26,741	71,866	5%	54%	20%	42%
西彼杵郡											
長与町	37	53	1,334	69	2	420	1,878	2	54	5	37
時津町	38	218	1,130	175	0	507	2,030	12	61	12	40
東彼杵郡											
東彼杵町	20	12	312	80	1	231	636	4	82	34	64
川棚町	34	59	833	380	0	933	2,205	8	98	98	98
北松浦郡											
小値賀町	19	20	78	57	9	60	224	22	94	98	96
佐々町	26	42	839	346	1	643	1,871	5	97	86	93
南松浦郡											
新上五島町	63	35	876	537	218	366	2,032	5	97	93	
郡 計	237	439	5,402	1,644	231	3,160	10,876	5%	66%	34%	54%
※事務局	1	0	0	0	0	8	8	未就学児・児童・生徒数は、 平成27年度長崎県統計による			
合 計	1,925	3,702	40,118	8,588	433	29,909	82,750				

※ 長崎県子連会員数の推移

年度	単子数	加入会員数						加入率(%)〔加入数／児童・生徒数〕			
		未就学児	小学生	中学生	高校生	指導者	合 計	未就学児	小学生	中学生	小中計
27年度	1,925	3,702	40,118	8,588	433	29,909	82,750	5%	55%	22%	43%
26年度	1,968	2,687	41,375	9,219	476	30,694	84,451	—	56%	23%	44%
25年度	2,013	2,821	43,040	9,845	490	32,072	88,268	—	57%	24%	45%
24年度	2,051	2,978	44,560	10,335	563	33,165	91,601	—	59%	24%	46%
23年度	2,130	2,946	47,546	10,825	605	34,454	96,376	—	60%	25%	48%
22年度	2,464	2,916	50,153	11,295	647	35,355	100,366	—	63%	26%	50%